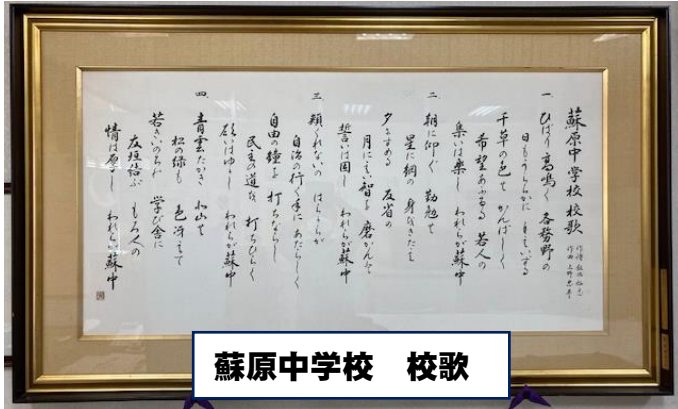


## <後期スタート！ 各学年に期待する姿>

校長 佐藤 幹彦



本日（10月13日（木））より後期が始まりました。前期の終業式では、自分自身の「自律」「尊重」「創造」の姿についてしっかり振り返ること、そして、「後期はどんな姿を目指すのか」を自分なりに考えて、今日につなげてほしいということ

を話しました。そこで、本日の始業式で話をした、各学年に「期待する姿」と「願い」を一部抜粋して紹介します。

（前略）1年生。中学校生活にも慣れて、生徒会活動や部活動などでも、「1年生の活躍の場」がどんどん広がってきました。すでに活躍している人も多くいます。そんな1年生には、先輩から学んだことはしっかり引き継ぎながらも、今から、「2年後には3年生になること」を見据えて、自分たちが新たな蘇原中学校を「創造」していくという気概をもって努力して欲しいと思います。「創造」とは、新しいものを生み出していくこと、常に挑戦し続けることです。私は、1年生の良さは、まずは「授業に臨む姿」だと思っています。「授業に集中して取り組む姿」「みんなに聞こえる声で話す姿」「仲間の意見に反応する姿」については、どの学級でも見られるので、これからも、タブレットの活用とともに、以前から授業で大切にされてきた姿をさらにレベルアップして行ってください。

2年生。先日、執行部員や委員長の認証・任命を行いました。これからの蘇原中学校を中心となってリードし「創造」していくのは2年生の皆さんです。この秋季休業中に、ハンドボールの市大会を参観する機会がありましたが、男女ともに2年生が中心となって精一杯プレーする姿はとて素敵でした。そして「いよいよ自分たちの番だ！」という思いで一生懸命戦っている姿にすごく感動し、この先も任せられると感じました。この後期、4月からは「3年生になる」という自覚を全員がもって、蘇原中学校で大切にしている「自律」「尊重」「創造」の3つの力を、まずは2年

生が姿でリードして示していく努力をしていってほしいと思います。

3年生。いよいよ「中学校生活最後」「義務教育最後」の後期となります。6か月後には、皆さん一人一人が「進路決定」をして、それぞれがバラバラとなった進路先で、新たな一步を踏み出すこととなります。そんな節目となる大切な後期ですが、今の学級や学年の仲間と一緒に、まずは「楽しい思い出」をいっぱい作ってください。それに加えて、4月から一人でも頑張っていけるように、「辛くてもみんなで支え合って乗り越えた経験・思い出」もいっぱい作ってほしいと思います。そして、1・2年生に対して、自分たちが「引き継いでいってほしい姿」「誇れる姿」を「創造」しながら、「この学級でよかった!」「最高の学年だった!」という思いを胸に、蘇原中学校を巣立っていってほしいと思います。

(中略)私の後期の「願い」は、全校の皆さんが毎日「元気に登校、笑顔で下校」できる学校であってほしいということに変わりありません。しかしそこには、前期よりも、質的にレベルアップした「元気」と「笑顔」を求めたいです。例えば、「自律」の姿…今日は以前より「自分から進んで挨拶をする姿」が多く見られた気がします。後期になって、自分の意識を変えた子が増えたのだと思います。「尊重」の姿として…今の学級での「集団の中での自分の在り方」「集団生活の中でルールを守る姿」「お互いの違いを認め合って相手を大切に作る姿・思いやる姿」、「創造」の姿として…今、工事で汚くなった廊下を一生懸命磨いてくれているように、「自分たちの生活や環境をよりよくするために係活動や掃除にしっかり取り組む姿」、「自分たちの学校を自分たちの手でさらに良くしていこうと努力する姿」…といったことなど、「個人」としての「自律」「尊重」「創造」の姿をレベルアップさせたことによって生まれる「元気」と「笑顔」を期待しています。



学校としても気持ちを新たに、後期より朝の音楽を「校歌」に変えました。どの学年をもつなく「校歌」です。校歌を聞いて、自分は蘇原中の生徒であるということをしっかり自覚して、これからも頑張ってくれることを期待しています。